

平成26年度里地里山等地域の自然シンボルと共生した先導的な低炭素地域づくりのための事業化計画の策定・F S調査委託業務採択事業一覧

	申請団体名	実施場所
1	皆生温泉観光 株式会社	鳥取県米子市
2	一般社団法人 鎮守の森コミュニティ推進協議会	岐阜県中津川市
3	一般財団法人 ブナの里 白神公社	青森県西目屋村
4	株式会社 ディーエルディー	長野県伊那市
5	株式会社 ア・ラ・小布施	長野県小布施町
6	慶應義塾大学SFC研究所	山梨県富士吉田市
7	特定非営利活動法人 地域再生機構	石川県白山市
8	三菱UFJリサーチ&コンサルティング 株式会社	三重県大台町
9	一般社団法人 持続可能で安心安全な社会をめざす 新エネルギー活用推進協議会	宮城県東松島市

※順番は申請順です。

審査委員会の意見を踏まえた総評

【高い評価を得た事業内容の例】

- ・対象設備導入を核として地域への低炭素設備の普及が進み、地域の低炭素化に大きく貢献することが見込まれる。
- ・多様な主体の参画による具体的な生物多様性保全活動が実施、又は計画されており、活動の実現・継続性が高い。
- ・CO₂削減や生物多様性保全だけでなく、災害時の対策、観光産業の振興や地域経済の活性化等の地域の課題解決にも資する事業形成を目指している。
- ・本事業による調査の内容が具体的で、実施後、速やかに設備導入に移行できる見込みが高く、かつ地域における事業効果が高い。
- ・区域内外において今後のモデルとなり得る。
- ・地域の特性を踏まえて効果的に低炭素化及び生物多様性保全を進める事業が計画されており、民間団体と自治体との強い連携が見られる。

【低い評価となった事業内容の例】

- ・調査の内容や地域の温暖化対策及び生物多様性保全に係る課題設定が明確でない。
- ・事業の実施場所、実施主体、導入設備が決まっていない、各種手続きや合意形成を含む事業化計画の策定が含まれていないなど、設備導入に向けた確実性が低い。
- ・域内への普及方針に関して、十分な具体性・確実性・主体性がない。
- ・地域における事業の位置づけ等が十分考察されておらず、事業の実施が実行計画等の推進に資することの説明が十分でない。
- ・具体的な生物多様性保全活動の実施が計画されていないなど、事業の実施により生物多様性の保全に十分つながるとは判断できない。
- ・自治体と連携した具体的な取組が示されていないなど、実施による地域の地球温暖化対策や生物多様性の進展が十分に期待できる計画となっていない。

以上